

ないきる R3.12.15

ないきり遊びが大好きなりんご組、めろん組から劇の招待を受けました。初めての劇にワクワク、ドキドキの子ども達。この瞬間、子どもたちは何を感じたのかな？ぞっと覗いてみましょう…



めろん組の劇「おおかみと7ひきのこやぎ」は最近クラスでも読んでいた絵本。内容が分かる子は劇の展開にドキドキしながら見ていました。

自分じゃない誰かがないきているのを見るのは初めて。めろん組の動きややりとりを食い入るように見つめていました。



身を乗り出して興味津々！



「おおかみがおきた！」この後の展開にハラハラ…思わずこの表情に。



劇を見た後戸外に出ると「やぎのお面かぶりたい！」と子ども達。やりたい役のお面をかぶり早速始まるごっこ遊び。

こやぎの言葉を子どもなりに伝えます。身振り手振りで、表情も加えながら必死におおかみを入れないようにしています。



何の場面の一コマ？

おおかみのお腹に石を入れる場面。大きな石、小さい石、葉っぱや砂だて入れちゃいます。子ども達にとって一番印象的なシーン。



役の交代をしながら繰り返し楽しむごっこ遊び。めろん組の劇を見て、「ぼくも、わたしも！」と最初は真似から始まりましたが、子ども達から飛び出した言葉ややりとりもあり、子ども達の表現の豊かさに驚きました。

「何かになりきる」・・・見て・感じて・やってみること。内に秘めた気持ちを汲み取り見守りながら、子どもたちのやりたいことを全力でやらせてあげたいと思います。

